Yanase Medi-Care Group

医療法人碧会 / 社会福祉法人寿泉会
フェニックスヘルスサービスサポート

Recruitment Press

2006年春
新卒採用

ヤナセメディケアグループに応募される皆さんへ

グループ代表　　柳瀬　仁

　ヤナセメディケアグループは、
医療法人碧会（みどりかい）と社会福祉法人寿泉会（じゅせんかい）を中心とする
医療（メディカル）と福祉（ケア）の、複合組織です。
人が基本の医療と介護を目指す有機的集団を目指して、わたし達の造語「メディケア」をグループの名称としました。

●患者様・ご利用者の多様な価値観に基づく生活の質（Quality of Life）
　の維持・向上を第一義とする医療・介護
●お仕着せの医療・介護ではなく、患者様・ご利用者一人一人のための
　オーダーメードの医療・介護
●患者様・ご利用者の尊厳と個性を最大限に尊重した医療・介護
●生活全般の見直しと予防医学に力点を置いた医療・介護の実践

　わたし達は、医療と介護におけるそれらの目標を全人医療・全人介護の実践という言葉として、グループの大きな目標に掲げています。
その理念とは、とりもなおさず患者様・ご利用者お一人お一人の＜人格＞を尊重する事であり、＜違い＞や＜個性＞を大切にするという人間観・世界観そのものです。

　同時にそのことを実現するために、わたし達は多くの「個性」を必要としています。喜んだり、悲しんだり、時には怒りさえする人間のもっとも人間的なチカラを、必要としています。

　ヤナセメディケアグループは、医療機器や介護機器は当然のこととして、グループ内外の情報伝達にも最新のシステムを導入しています。
これからわたし達のグループに参加される若い皆さんが、これらのテクノロジーを使いこなす必要があることは言うまでもありません。
しかし物事の本質は、テクノロジーにのみあるのではありません。
テクノロジーを超えた人間のチカラにこそ、医療や介護が存続する根源的な基盤があると、わたくしは確信しています。

　そんなパワーに充ち満ちた若くてみずみずしい感性が、わたし達のグループに一層の活力をもたらしてくれることを願っています。

ヤナセメディケアグループ代表
医療法人碧会理事長
社会福祉法人寿泉会常務理事
医学博士
柳瀬　仁

「安心して歳をとることが出来る社会を創る！」
社会福祉法人寿泉会はこうして生まれました。

社会福祉法人寿泉会（三重県津市）理事長・柳瀬恒範は
婦人科医として１万人以上の出産に立ち会ってきました。
昼食は出産の合間に立って食べるおにぎり。
そんな激務の中で自らにもう一つの激務を科すことを密かに決意したのは昭和４０年代の末でした。

私財の少なからぬ部分を投げ出して公表したのは、
「産婦人科」とは一見対局にあるように見える「高齢者福祉」の施設建設。当時津市には宗教団体系の施設が二つだけという中で、門外漢の民間人が作るという意表をつく計画でもありました。
「安心して歳をとることができない社会では、安心して赤ちゃんを産むこともできません。だから産婦人科と老人ホームは車の両輪。私の社会的使命なんです」
この計画に県・市をあげて支持をいただき、昭和５４年、社会福祉法人寿泉会と特別養護老人ホーム「泉園」は誕生しました。
その後、グループホーム「八幡園」、介護老人保健施設「万葉の里」など、時代と地域のニーズに応える新機軸を展開しながら、寿泉会は常にまごころ込めた介護を実践してきました。

ヤナセメディケアグループ会長
社会福祉法人寿泉会理事長
医療法人碧会会長
医学博士
柳瀬　恒範

「大切な事は、ご家族ではできない事までできる介護の施設や技術を持っていることです。でももっと大切なのは、ご家族に匹敵するほどの誠実な気持ち＝『まごころ』を持ち続けることです」
やわらかな物腰と強固な意志で、彼が語ることもなく教えた精神は、法人設立２０周年には「誠実と和」の理念として結実しました。
そして現在はその実践目標としての「全人介護の実践」という理念として、寿泉会の様々な施設・事業の中に息づいています。

お一人お一人に最適の医療・介護を！
グループの夢は今後も広がります。

医師の長男に生まれ、自らも医療の現場に身を投じた柳瀬仁（グループ代表）は、現代医療のいびつな発展への反省を込めて、「全人医療」「全人介護」こそが、わたし達の進むべき道であると語ります。

患者様の「生活の質（Quality of Life）」の維持・向上を第一義とする医療・介護……
お仕着せの医療・介護ではなく、患者様一人一人のためのオーダーメードの医療・介護……
患者様の尊厳と個性を最大限に尊重した医療・介護……
生活全般の見直しと予防医学に力点を置いた医療の実践……
「全人医療」「全人介護」の理念は、時として経営効率や医療従事者の都合とは反する、厳しい要求をわたし達に突きつけます。
「どちらが良いか迷った場合は、患者様の利益になる方を選ぼう」
そう言葉で語ることは簡単でも、それを実践する上で、幾多の困難があることも事実です。
しかし彼は不器用なまでに、その理念を語り続けました。
そしてその理念は、いつしかグループの全施設において、運営の基本原理として根付きはじめたのです。
幸い「全人医療」「全人介護」の理念は地域の皆様のご指示をいただき、各医療・介護の現場も高い評価をいただけるようになってきました。
しかしわたし達はこの地平に甘んじることはありません。不断に新しい時代の「全人医療」「全人介護」を目指し続けます。

彼はまた、こう言い切ります
「わたし達は常に『現在進行形』です。だから一人一人も成長し続けるのです」

専門職募集

「業際」の時代だからこそ、確固たる専門職のＤＮＡを根付かせたい

今日、医療・介護を取り巻く環境においても、
(1)ご利用者ニーズの多様化、
(2)事業者間の競争やビジネスモデルの複雑化、
(3)医療技術・介護技術・ＩＴをはじめとする技術革新
などを背景に、既存の事業・サービスの枠組みを越えた動き＝業際の時代が本格化しつつあります。
わたし達ヤナセメディケアグループも、医療と介護の専門的ノウハウの結合を基礎に、時代に適した複合的医療・介護サービスの提供へと歩みを進めつつあります。
しかしこの「業際」の時代を切り開くのも、確かな技術と知識を備えた高度な専門職のＤＮＡであることに変わりはありません。 学業を通じて専門職としての基礎的訓練を積まれた若いパワーに、更に時代のニーズを的確にトレーニングしながら、 活躍できる充実したステージを用意することが、わたし達の責務です。
「ＩＴが分かる看護師」とか「アートを理解できる栄養士」とか、とか…… 何となく周りまでワクワクさせるような専門職を、グループの中で育成しながら、そのＤＮＡを事業全体に行き渡らせたいと思っています。

＜採用予定職種：助産師・看護師・臨床放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士
理学療法士・作業療法士・社会福祉士・介護福祉士＞

ケア・サポート職募集　（最終学歴・資格は問いません）

現場で奮闘し、事業の運営責任者となった多くの先輩たちがいます

医療・介護の事業を支えているのは、専門職（資格職）として、専門的な学業経験を積んだ人たちだけではありません。
これまでも介護職や事務職として多くの若い人材がわたし達のグループに合流し、温かで貴重な現場経験を経て、様々な資格を取得してきました。
現在３０代前半で事業の運営責任者として施設運営を指揮している多くの人材も実は、こうしてグループに合流した先輩達です。 採用にあたって専攻分野や最終学歴・資格は問いません。あくまで人物本位。 大切なのは「やる気」と医療・介護を目指す「温かな気持ち」です。
現場で奮闘しながら資格を取得してきた多くの先輩達を育ててきたノウハウを充分に活かしながら、グループの事業を支える中核的な人材の育成を心がけています。
もちろん、取得資格によって専門職として活動のステージが深まる事や総合職として更に広いフィールドで活躍できる多くのプラン等が用意されていることは、言うまでもありません。

＜採用予定職種：介護職・看護助手＞

総合職募集

高度な専門性を要求される業種だからこそ、総合職が求められています

医療・介護の分野では多くの専門職が活躍しています。
その専門職の問題意識とご利用者ニーズを横断的に分析し、時代の要請に適合したビジネスモデルを作り上げていくのが、「総合職」です。
わたし達は、これまで医療・介護の事業分野において軽視されがちだった 総合職の重要性をどの事業体よりも正しく位置づけていると密かに自負しています。
その自負の上に立って今年度から開始するのが、総合職定期採用。人材育成プランも待遇も、一般職・専門職とは別のコースを用意しました。 採用にあたって専攻分野や資格は問いません。 ただし時代の感性を読み取る確かな目と、大きな夢だけは必須条件です。 将来わたし達のグループの経営そのものをゆだねることが出来る大きな活躍のフィールドを提供します。

＜採用予定職種：本部総合職＞
（総合職に関しては４年生大学卒以上またはそれと同等の学力を有する者）

DATA　（2005年6月1日現在）

医療法人　碧会		社会福祉法人　寿泉会	
医師（管理者・常勤・非常勤含む ）	9名	医師（管理者・契約含む）	5名
助産師	6名	施設長及び管理者	4名
看護師	25名	看護師	24名
看護助手	2名	介護支援専門員	15名
臨床放射線技師	5名	（内・社会福祉士　2名）	
臨床検査技師	3名	生活相談員	10名
介護支援専門員	2名	（内・社会福祉士　1名）	
介護支援相談員	3名	管理栄養士	2名
管理栄養士	3名	栄養士	1名
介護福祉士・介護職員	35名	介護福祉士・介護職員	98名
洗濯・清掃員	6名	ホームヘルパー	10名
事務員	22名	洗濯・清掃員	4名
調理員	2名	事務員	10名
理学療法士	1名	理学療法士	5名
作業療法士	2名	マッサージ師	1名
鍼灸師	1名	調理員	2名
計	127名	計	191名

フェニックスメディカルセンター 三重県津市乙部5番3号　059-227-5585(代)
介護老人保健施設「なごみの里」三重県多気郡勢和村大字古江字東山1512-1　0598-49-8858(代)
勢和ファミリークリニック 三重県多気郡勢和村大字古江字東山1512-1　0598-49-8855
介護老人福祉施設「泉園」三重県津市大字野田字千束2059　059-237-2526(代)
介護老人保健施設「万葉の里」三重県一志郡一志町大字高野字池辺236-5　059-295-1600(代)
グループホーム「八幡園」三重県津市大字津興字四ツ辻2947　059-213-7538

＜代表的な職種の大卒モデル初任給＞
看護師（業務手当・夜勤手当含む）　239,400円
介護職（業務手当・夜勤手当含む）　205,200円
総合職（総合職手当含む　　）　210,140円以上
上記のモデル初任給には、住宅手当（最高27,000円）、扶養手当（配偶者13,500円他）
通勤費など個人によって変動する手当は含まれていません。

速報！　2006年・春　津市内に医療・介護の新しい複合拠点「しおりの里（仮称）」がオープンします！

グループの主な事業（碧会）

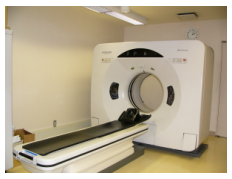
グループ医療を中心に最新で最善の
医療を追求する法人の中核施設

フェニックスメディカルセンター

三重県津市乙部

患者様一人一人のお名前とお顔が一致するような「適切な規模のクリニックの良さ」と、総合病院にも匹敵する「複数の専門医による質の高い医療」、そして最新の医療機器の整備など、よりよい地域医療を提供するためには、クリアすべき多くの必要条件があります。わたし達はそのことへの一つの回答として「グループ医療」の展開と、それを実現する中核的医療施設づくりを追求してきました。そしてその願いは、フェニックスメディカルセンタービルという形で実現し、各専門医療機関の協力のもと、日々の診療にあたっています

フェニックスメディカルセンター内の医療法人碧会の医療機関
　フェニックス健診クリニック（人間ドック・内科）
　ヤナセクリニック（産科・婦人科）
　フェニックスクリニック（整形外科・リハビリテーション科・神経内科）
フェニックスメディカルセンター内の協力医療機関
　飛鳥メディカルクリニック（内科・循環器科・呼吸器科・小児科）
　渡部クリニック（消化器科・肛門科・外科）
　小林眼科クリニック（眼科）
フェニックスメディカルセンター内の協力機関
　スマイル薬局（院外薬局）
　保健科学（検査）



最新の検査機器を完備し、人間ドックと
グループ医療の検査センターとして機能

フェニックス健診クリニック

フェニックスメディカルセンター

病気にならない医療サービスを提供する、それはわたし達の「全人医療」のテーマにとって中心的な課題でもあります。
それを実現するために人間ドックや各種の専門ドックを中心に地域の予防医学の拠点を目指しているのが「フェニックス健診クリニック」です。
またフェニックスメディカルセンターの検査センターとして、デジタル画像システムなど最新の検査機器を導入して多くの検査を実施しています。
「病気にならないとなかなか行きにくい」そんな医療機関のイメージを払拭するため、季節の旬の食材を揃えた健診食のご提供など、細やかなサービスにも力を入れています。

充実した設備とスタッフ！細やかなトータルサポート！
「二人目の出産も必ずヤナセで！」そんなお声が嬉しい

ヤナセクリニック

フェニックスメディカルセンター

ヤナセクリニックは、医療法人碧会の前身である「柳瀬産科・婦人科病院」の流れを受け継ぐ産科・婦人科のクリニックです。
４Ｄエコー装置や新生児聴覚検査機器など最新の医療機器を完備し、安心してご出産頂けるトータルな医療サポートを提供しています。
県内有数とも言える妊娠・出産・育児サークル「ストロベリークラブ」に加え、２００４年４月からは新しい常勤医師を迎え、二診制を実施するなど、そのサポート内容を更に深化させています。ホテルライクな施設に加え、何より充実したスタッフが自慢です。またホームページでの情報公開にも力を入れ、毎月出産された多くの方の声を公表するなど、開かれたクリニック運営を目指しています。
「院長・スタッフの優しさに感謝します。二人目も必ずヤナセクリニックで出産します」そんな声が沢山寄せられるクリニックです。

整形外科・リハビリテーション科から神経内科まで

フェニックスクリニック

フェニックスメディカルセンター

フェニックスクリニックは、整形外科・リハビリテーション科のクリニックとして、ともすれば「加齢のため」と片づけられがちなカラダの痛みや運動障害を専門に治療するクリニックです。
また2004年からは「神経内科」を新設しました。
これによりよりトータルに、より専門的にカラダの痛みや運動障害を診察するクリニックとして、地域の患者様の期待に添えるよう、医療内容の充実を図っています。

介護老人保健施設「なごみの里」

多気郡勢和村

医療法人碧会が運営する介護老人保健施設「なごみの里」は多気郡勢和村の美しい自然の中にあります。
医療法人の医療のノウハウと、グループである社会福祉法人寿泉会の介護のノウハウを集めて、オープンしました。
介護老人保健施設以外に、
☆通所リハビリ
☆短期入所療養介護
☆居宅介護支援
等の事業を運営し、地域の中心的な老人福祉施設として高い評価を頂いています。

採用ホームページ http://www.pmc.or.jp/jinji/

地域包括医療の実践と
三重大学の教育関連施設としてスタート

勢和ファミリークリニック

多気郡勢和村

三重県多気郡勢和村にある勢和ファミリークリニック（内科・婦人科・小児科・心療内科）は、家庭医療・地域包括医療実践のモデルクリニックとして、日常よく見かける病気を持つ患者様に責任を持って対処し、患者様の家庭や地域社会との関係も念頭に置きながら、最良の医療を提供します。
三重大学医学部附属病院総合診療部の医学生や研修医の研修を受け入れることによって、医学教育にも貢献しています。

グループの主な事業（寿泉会）

「泉園ブランド」…時にそう呼ばれる歴史のある福祉施設

介護老人福祉施設「泉園」

津市野田泉ヶ丘団地

特別養護老人ホームとして、昭和５４年に開設されてから２６年が過ぎました。
この間、デイサービス・在宅介護支援センター・訪問介護・居宅介護支援事業所等の施設が増え、ますます充実した福祉サービスが行えるようになってきました。
また、当初より「誠実と和」をモットーに職員が一丸となり、入所者の方々、利用者の方々に接してきました。
今後とも地域に密着した親しまれる施設として、よりよい介護サービスを行っていく努力をしていきます。

グループホーム・デイケアなどアットホームなサービスを提供する

グループホーム「八幡園」

津市津興

平成１４年にデイサービスと９床のグループホーム、居宅介護支援事業所の施設が開設致しました。
グループホームは認知症の方を対象としています。全室個室という環境のもと、家庭的な雰囲気で入所の方々をケアさせて頂いています。

ユニットケアなど新しい形のケアを提供する

介護老人保健施設「万葉の里」

一志郡一志町

「利用者・介護者が安心して生活できる願い」をもとに「個の生活」を大切にする、寿泉会の一番新しい施設です。
個室をメインに９つのユニットに分けて、それぞれの目的に応じて少人数で家庭的・個別的なケアを提供できる構造になっています。
同時に在宅生活の維持・復帰後のアフターケア的な機能として、居宅介護支援事務所・デイケアセンター・短期入所療養介護を兼ね備えています。

フェニックスヘルスサービスサポート

医療法人碧会・社会福祉法人寿泉会の医療・介護の多様な実践を支えてるための、細やかなサポートを担当しているのが、会社法人「フェニックスヘルスサービスサポート」です。
フェニックスメディカルセンターの様々な事務業務や、給食業務を始め、グループの情報システム管理・維持など、幅広いフィールドで医療と介護をサポートしています。

事業規模にふさわしい福利厚生も自慢です

充実した医療・介護サービスを提供するには、働く一人一人の生活が充実していなければならない。そう考えて親睦会の旅行など福利厚生の充実にもチカラを入れています。

★介護事業部合同忘年会（２００４年）

★４班に分かれて北海道へ（２００４年）

採用・人事に関する業務は全てグループ本部で行っています。

〒514-0016　三重県津市乙部４番１０号
ヤナセメディケアグループ本部
TEL059-213-5331・FAX059-213-5332